

滋賀県 リスキリングブリッジ創出業務 実施概要

令和8年3月10日
株式会社産業タイムズ社

目次

1. 事業概要.....	2
2. 講座概要.....	2
3. 参加状況.....	3
4. 受講者アンケート結果.....	3
5. 総括.....	4
リスクリングブリッジ創出業務 基礎講座 第1回.....	5
リスクリングブリッジ創出業務 基礎講座 第2回.....	6
リスクリングブリッジ創出業務 基礎講座 第3回.....	7
リスクリングブリッジ創出業務 基礎講座 第4回.....	8
リスクリングブリッジ創出業務 基礎講座 第5回.....	9
リスクリングブリッジ創出業務 基礎講座 第6回.....	10
リスクリングブリッジ創出業務 実践講座 第1回.....	11
リスクリングブリッジ創出業務 実践講座 第2回.....	12
リスクリングブリッジ創出業務 実践講座 第3回.....	13
リスクリングブリッジ創出業務 実践講座 第4回.....	14
リスクリングブリッジ創出業務 実践講座 第5回.....	15
リスクリングブリッジ創出業務 実践講座 第6回.....	16
リスクリングブリッジ創出業務 実践講座 第7回.....	17
リスクリングブリッジ創出業務 実践講座 第8回.....	18

1. 事業概要

本事業では、半導体分野への理解促進と新規参入の可能性検討を目的として、半導体の基礎知識から先端技術まで体系的に学ぶ講座を実施した。産業タイムズ社が行う入門レベルの「基礎講座」と、立命館大学 半導体応用研究センター(RISA)による先端技術講義を中心とした「実践講座」の二段階構成で実施した。

2. 講座概要

講座数： 基礎講座 6 回／実践講座 8 回(合計 14 回)

会場： 「基礎講座」 会場参加(ピアザ淡海)、および Zoom オンライン
「実践講座」 会場参加のみ(立命館大学 びわこ・くさつキャンパス)

運営： 「基礎講座」 株式会社産業タイムズ社
「実践講座」 立命館大学 半導体応用研究センター(RISA)

各講座概要：

「基礎講座」 基礎講座では、半導体の基本構造や製造工程、応用分野などを体系的に解説し、未経験者でも半導体産業の全体像を理解できる内容とした。

第 1 回	10/9 10:00~11:30	(株)産業タイムズ社 事業開発部 次長 小峯 未来氏	未経験の方向け半導体の初歩・動作原理
第 2 回	10/17 14:30~16:00	(株)産業タイムズ社 事業開発部 部長 麩 秀樹氏	半導体製造工程の基礎 (前工程)
第 3 回	10/31 14:30~16:00	(株)産業タイムズ社 事業開発部 部長 麩 秀樹氏	半導体製造工程の基礎 (後工程)
第 4 回	11/7 14:30~16:00	(株)産業タイムズ社 事業開発部 部長 麩 秀樹氏	車に使われる半導体の基礎
第 5 回	11/14 14:30~16:00	(株)産業タイムズ社 代表取締役副 社長 津村 明宏氏	スマホ・PC・家電に使われている半導体
第 6 回	11/21 14:30~16:00	(株)産業タイムズ社 代表取締役副 社長 津村 明宏氏	半導体の将来像 (AI、次世代通信、量子コンピュータ)

「実践講座」 実践講座では、大学研究者による講義や研究施設見学を通じて、最先端技術や研究開発の現場に触れる機会を提供した。

第 1 回	10/9 14:00~15:30	立命館大学半導体応用研究センター センター長/教授/RARA フェロー 金子 健太郎氏	半導体産業、特にパワー半導体業界の今後の動向
第 2 回	10/24 13:30~15:00	立命館大学理工学部電気電子工学科 半導体材料科学研究室 教授 荒木 努氏	半導体の結晶成長と極微構造観察

第3回	11/5 13:30~15:00	立命館大学総合科学技術研究機構 教授 立命館大学宇宙地球探査研究センター長 佐伯 和人氏	月探査機に搭載される観測機器の開発の現場
第4回	11/19 14:00~15:30	大阪公立大学大学院工学研究科 特任教授、大阪府立大学 名誉教授、立命館大学 半導体応用研究センター学外メンバー 内藤 裕義氏	有機半導体の現状と将来
第5回	12/8 14:00~15:30	立命館大学理工学部 教授 今田 真氏	放射光(SR)を用いた X 線吸収分光と光電子分光による物質表面の研究・分析
第6回	12/17 13:30~15:30	立命館大学総合科学技術研究機構 教授 藤原 康文氏	未来社会を支える次世代マイクロ LED ディスプレイ
第7回	1/16 14:00~16:00	立命館大学 副学長 三宅 雅人氏	化合物半導体製造装置開発における成膜法とその技術
第8回	1/30 14:00~15:30	立命館大学半導体応用研究センター センター長/教授/RARA フェロー 金子 健太郎氏	新材料による新しい省エネルギー技術の開発

3. 参加状況

基礎講座：903名（オンライン 879名、会場 24名）

実践講座：106名（会場のみ）

全講座合計：1,009名

基礎講座 903名、実践講座 106名の計 1,009名が参加し、半導体分野に対する関心の高さと人材育成ニーズの大きさが確認された。なお、実践講座は会場参加のみの開催であったが、多くの参加者が集まり、先端技術に対する関心の高さがうかがえる結果となった。

4. 受講者アンケート結果

アンケートは基礎講座から 586名、実践講座から102名の方から回答をいただいた。

満足度：

「全体」満足 73.4% / 普通 24.7% / 不満 0.4% / 無回答 1.5%

「基礎講座」満足 70.8% / 普通 27.0% / 不満 0.5% / 無回答 1.7%

「実践講座」満足 88.2% / 普通 11.8% / 不満 0.0% / 無回答 0.0%

講座アンケートでは、全体の約 7割が「満足」と回答し、不満の回答はほとんど見られなかった。特に実践講座では約 9割が「満足」と回答するなど、高い満足度が確認された。

難易度：

「全体」適切 68.4% / 難しい 23.4% / 簡単 7.1% / 無回答 1.4%

「基礎講座」適切 70.6% / 難しい 19.8% / 簡単 8.0% / 無回答 1.5%

「実践講座」適切 53.8% / 難しい 43.5% / 簡単 1.9% / 無回答 0.9%

講座の難易度については、全体で「適切」が 68.4%と最も多く、概ね適切な難易度であった。基礎講座は未経験者向け、実践講座は先端研究を扱う内容としたため、実践講座では「難しい」との回答が比較的多い結果となった。

新分野(半導体等)への参入意向

「全体」 意欲あり 40.8% / 未定 53.2% / 予定なし 3.1% / 無回答 2.9%

「基礎講座」 意欲あり 40.8% / 未定 54.7% / 予定なし 2.9% / 無回答 1.5%

「実践講座」 意欲あり 40.8% / 未定 44.7% / 予定なし 3.9% / 無回答 10.7%

新分野(半導体等)への参入意向については、「意欲あり」が 40.8%となり、一定数の参加者が新分野への参入に関心を示す結果となった。また、「未定」が過半数を占めており、今後の検討につながる関心喚起の機会となった。

5. 総括

本事業では、半導体分野への理解促進と新規参入の可能性検討を目的として、基礎講座 6 回、実践講座 8 回の計 14 回の講座を実施した。基礎講座では半導体の基礎知識や産業構造を体系的に解説し、実践講座では大学研究者による講義や研究施設見学を通じて、先端技術や研究開発の現場に触れる機会を提供した。

参加者は基礎講座 903 名、実践講座 106 名の計 1,009 名に達し、半導体分野に対する高い関心と人材育成ニーズの大きさが確認された。特に実践講座は会場参加のみでの開催であったにもかかわらず多くの参加者が集まり、先端技術に対する関心の高さがうかがえる結果となった。

アンケート結果では、講座満足度について全体の約 7 割が「満足」と回答し、不満の回答はほとんど見られなかった。また、難易度についても「適切」との回答が最も多く、基礎講座と実践講座の二段階構成により、半導体分野の基礎から先端技術まで段階的に理解を深める機会を提供できたと考えられる。

さらに、新分野(半導体等)への参入意向については「意欲あり」が 40.8%となり、一定数の参加者が新分野への参入に関心を示す結果となった。一方で「未定」と回答した参加者も多く、今後の情報提供や理解促進により、具体的な検討につながる可能性があると考えられる。

以上のことから、本事業は半導体分野の理解促進と関心喚起に一定の成果を上げたものと考えられる。今後は、本講座を通じて得られた関心やニーズを踏まえ、半導体分野に関する知識提供や技術理解の機会を継続的に提供していくことが期待される。

リスクリングブリッジ創出業務 基礎講座 第1回

日 時:令和 7 年 10 月 9 日(木)10:00~11:30

場 所:ピアザ淡海 207 会議室

講師名:株式会社産業タイムズ社 事業開発部 次長 小峯未来 氏

講座名:未経験の方向け半導体の初歩・動作原理

講座概要:講座では、半導体の基本構造や役割からはじまり、そこから製造工程や材料、装置といった周辺産業の広がりまで幅広く説明した。さらに、世界的な市場拡大や日本の巻き返し戦略を紹介し、産業としての将来性を共有した。その上で、異業種からの参入事例を紹介し、今後、中小企業の参入となるヒントを示した。

参加状況:合計 150名 (オンライン 142 名、会場 8 名)

アンケート結果:合計 100 名の方から回答をいただいた。

満足度:満足 74.0% / 普通 24.0% / 不満 0.0%

難易度:適切 83.0% / 難しい 8.0% / 簡単 9.0%

新分野への参入意向:意欲あり 47.0% / 未定 50.0% / 予定なし 1.0%

主な意見:講座に対しては「非常に分かりやすかった」「広範な情報が網羅されていた」「製造工程の動画が理解に役立った」など、初学者に適した構成や資料・進行の分かりやすさに対する好意的な意見が多数寄せられた。

難易度に対しては「初心者には適切」「入門として最適」「文系でも理解できた」などのコメントがあり、初心者層への配慮が成功していることが確認された。

新分野への参入意向に関しては、一部はすでに参入しているという意見もあったが、半数近くは進出に前向きであった「異業種からの参入事例が参考になった」「自社の検査技術が応用できそう」「市場の魅力は感じるがハードルは高い」など、前向きな姿勢や具体的な検討状況が複数回答に見られた

講座写真



リスクリングブリッジ創出業務 基礎講座 第2回

日時:令和7年10月17日(金)14:30~16:00

場所:ピアザ淡海 305 会議室

講師名:株式会社産業タイムズ社 事業開発部 部長 甕秀樹 氏

講座名:半導体製造工程の基礎 (前工程)

講座概要:講座では、半導体の基板(シリコンウエハー)の上に極めて小さな電子回路を作り込む「前工程」と呼ばれる工程について解説した。全体の流れや、使われる要素技術、製造装置・材料など基本的な情報に加えて、最新の業界・技術トレンドを説明することで、今後参入するうえでのヒントとなる内容を盛り込んだ。

参加状況:合計 169名 (オンライン 165名、会場 4名)

アンケート結果:合計 119名の方から回答をいただいた。

満足度:満足 63.3% / 普通 33.3% / 不満 1.7%

難易度:適切 59.2% / 難しい 25.8% / 簡単 12.5%

新分野への参入意向:意欲あり 37.8% / 未定 54.6% / 予定なし 3.4%

主な意見:講座に対しては「工程ごとに何を目的に実施しているか理解できた」「初心者向けの資料で半導体製造の全体像を把握できた」など、基礎理解が大きく深まったという声が多く寄せられた。また、「名前だけ知っていた工程の詳細が分かった」「具体例がわかりやすく新人教育に最適」という意見もあり、前工程の体系的理解に貢献したと評価された。一方で、「資料構成や説明が分かりづらい」「もう少し詳細や装置・薬品の具体例が欲しい」など、説明方法や内容の深さに関する改善要望も見られた。

難易度に対しては多くの参加者が「初心者向けとしてちょうどよい」「難しい内容も丁寧な説明で理解しやすかった」「基本事項が抑えられており良かった」など、適切なレベル感として評価していた。

新分野への参入意向に関しては、「すでに半導体関連に従事しており、さらに知識を深めたい」「自社技術を生かし新規市場を学びたい」「リソ工程や InP 材料など成長領域に興味がある」と、半導体分野への関与拡大に前向きな姿勢を示した。

講座写真



リスクリングブリッジ創出業務 基礎講座 第3回

日 時:令和 7 年 10 月 31 日(金)14:30~16:00

場 所:ピアザ淡海 305 会議室

講師名:株式会社産業タイムズ社 事業開発部 部長 甕秀樹 氏

講座名:半導体製造工程の基礎 (後工程)

講座概要:講座では、前工程で作った半導体チップをウエハーから切り出し、専用の入れ物(パッケージ)に入れる「後工程」(パッケージング工程)について、パッケージの種類や全体の流れ、使われる技術や製造装置・材料について説明した。今後参入促進を狙い、基本的な情報に加えて、最新の業界トレンドなども説明した。

参加状況:合計 168 名 (オンライン 165 名、会場 3 名)

アンケート結果:合計 117 名の方から回答をいただいた。

満足度:満足 69.2% / 普通 29.9% / 不満 0.0%

難易度:適切 64.1% / 難しい 29.9% / 簡単 5.1%

新分野への参入意向:意欲あり 46.2% / 未定 47.9% / 予定なし 3.4%

主な意見:講座に対しては、「後工程の基本プロセスやパッケージ技術の理解が深まった」「再配線など、これまで理解が曖昧だった内容が整理できた」など、後工程の構造や最新トレンドへの理解が進んだという意見が多く寄せられた。また、「図を用いた説明で初心者でも理解しやすかった」「実務で関わっている内容を改めて体系的に学べて有益だった」といった声もあり、実務者の知識整理や理解深化に役立ったとの評価が見られた。難易度に対しては「専門用語をかみ砕いた説明で初心者でも理解しやすかった」「図やイラストを用いた説明により工程の流れを把握しやすかった」など、全体として適切な難易度であったと評価する意見が多く見られた。

新分野への参入意向に関しては、「中工程や後工程で自社の技術を活用できる可能性を感じた」「既存設備を活用できれば参入余地がある」など、新たなビジネス機会の可能性を検討したいという意見も寄せられた。

講座写真



リスクリングブリッジ創出業務 基礎講座 第4回

日 時:令和 7 年 11 月 7 日(金)14:30~16:00

場 所:ピアザ淡海 305 会議室

講師名:株式会社産業タイムズ社 事業開発部 部長 甕秀樹 氏

講座名:車に使われる半導体の基礎

講座概要:講座では、自動車の基本動作を支える半導体技術について解説した。半導体市場と EV の動向を概観したうえで、EV パワートレイン、バッテリーマネジメントシステム、モーター制御、ステアリング、ボディ制御、ADAS ECU など、自動車の各部で半導体がどのように用いられるかを図で示しながら説明した。基本用語の整理に加え、今後の技術トレンドを示すことで、自動車分野における半導体の役割と将来像を理解するための内容とした。

参加状況:合計 150 名 (オンライン 148 名、会場 2 名)

アンケート結果:合計 88 名の方から回答をいただいた。

満足度:満足 61.4% / 普通 35.2% / 不満 1.1%

難易度:適切 68.9% / 難しい 14.9% / 簡単 14.9%

新分野への参入意向:意欲あり 46.2% / 未定 47.9% / 予定なし 3.4%

主な意見:講座に対しては「ECU とマイコンの違いがわかりやすく理解できた」「車載用途で多くの半導体がどの様に使用されているかを知ることが出来た」など、新しい知見の獲得や基礎理解の深化を評価する声が多く寄せられ、車載半導体への理解を広げる機会になったと評価された。一方で、「車の説明が多かった」「情報量の多さに対して、時間が不足しており、表面的な話で時間終了となった」など、内容や構成に関する意見も見られた。

難易度に対しては「基礎的な内容から専門的な調査まで幅広く扱われており良かった」「一般的な内容で理解しやすかった」など、全体として適切な難易度であったと評価する意見が多く見られた。

新分野への参入意向に関しては、「既存設備や既存技術が活用できれば可能性がある」「関与できる部分が不明」といった、半導体分野への関わり方を探る意見が見られた。

講座写真



リスキリングブリッジ創出業務 基礎講座 第5回

日時:令和7年11月14日(金)14:30~16:00

場所:ピアザ淡海 305 会議室

講師名:株式会社産業タイムズ社 代表取締役副社長 津村 明宏 氏

講座名:スマホ・PC・家電に使われている半導体

講座概要:講座では、身近なパソコンやスマートフォンに欠かせない半導体の用途や種類を解説した。メモリー半導体、ロジック半導体、イメージセンサー、化合物半導体など、主要な半導体の特徴や市場動向を紹介するほか、将来性や供給メーカーの情報にも触れ、業界理解や今後の参入に役立つ基礎知識を提供した。

参加状況:合計 132 名 (オンライン 127 名、会場 5 名)

アンケート結果:合計 79 名の方から回答をいただいた。

満足度:満足 84.8% / 普通 13.9% / 不満 0.0%

難易度:適切 70.9% / 難しい 13.9% / 簡単 13.9%

新分野への参入意向:意欲あり 32.9% / 未定 62.0% / 予定なし 3.8%

主な意見:講座に対しては自由記述では、「各種半導体の基礎が整理できた」「CPU・GPU・MCU の違いが明確になった」「身近な機器で使われる半導体のイメージがつきやすかった」など、基礎理解に役立ったとする声が多く寄せられた。また、「網羅的に学べた」「市場データが分かりやすくまとめられていた」など、幅広い知識を効率的に吸収できた点が高く評価された。半導体の種類・役割・市場動向を短時間で把握できた有意義な内容であったと受け止められていることが伺える。

難易度に対しては「中庸でいい」「初心者/新人向けかと思うのでこのレベルでいい」といった、リスキリングに適した難易度という評価の声が寄せられた。

新分野への参入意向に関しては、「グループ企業で半導体製造装置を扱っているため情報共有に活用したい」といった、既存事業との関連で講座内容を参考にしたいという意見が見られた。また、「GaN 対応」や「量子コンピュータ関連半導体」など、今後の新技術分野への関心も寄せられた。

講座写真



リスキリングブリッジ創出業務 基礎講座 第6回

日 時:令和 7 年 11 月 21 日(金)14:30~16:00

場 所:ピアザ淡海 305 会議室

講師名:株式会社産業タイムズ社 代表取締役副社長 津村 明宏 氏

講座名:半導体の将来像(AI、次世代通信、量子コンピュータ)

講座概要:講座では、AI・コンピュータの高度化を支える半導体産業の進化について解説した。世界市場の拡大やハイパースケーラーの投資動向、AI データセンターや GPU の進展、次世代通信(6G)などの最新トピックを整理しながら、SiC・GaN パワー半導体をはじめとする企業の取り組みと、今後の半導体の将来像を紹介。多くのトピックを取り扱った。

参加状況:合計 133 名 (オンライン 128 名、会場 5 名)

アンケート結果:合計 82 名の方から回答をいただいた。

満足度:満足 76.8% / 普通 20.7% / 不満 0.0%

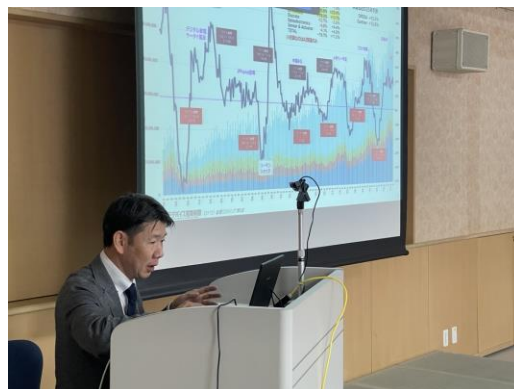
難易度:適切 75.6% / 難しい 19.5% / 簡単 1.2%

新分野への参入意向:意欲あり 46.3% / 未定 50.0% / 予定なし 3.7%

主な意見:講座に対しては「広範な情報が整理されていて分かりやすかった」「入門編として非常によくまとまっていた」など、基礎から最新動向まで効率よく把握できた点を評価する声が多く寄せられた。幅広い技術領域をコンパクトに学べる有意義な内容であり、最新情報が盛り込まれていた点が好評であった。難易度に対しては「リスキリング講座なので、現状の内容でいい」「大変わかりやすかった」といった適切な難易度だという評価が寄せられた。

新分野への参入意向に関しては、「今後も日本技術を活かして地位奪回に貢献したい。」「光電融合で NTT が世界を席巻する日を期待」と、今後の貢献に非常に意欲的な意見が示された。

講座写真



リスクリングブリッジ創出業務 実践講座 第1回

日時:令和7年10月9日(金)14:00~15:30

場所:立命館大学 びわこ・くさつキャンパス 防災2F 第2会議室

講師名:立命館大学半導体応用研究センター センター長/教授/RARA フェロー 金子 健太郎 氏

講座名:半導体産業、特にパワー半導体業界の今後の動向

講座概要:講座では、日本がラピダスを立ち上げた背景や狙いを解説するとともに、Wolfspeedの経営破綻や中国勢のSiC攻勢がパワー半導体業界に与える影響を読み解いた。あわせて、最新の日本の半導体動向や地域誘致の視点も交え、今後の半導体産業の方向性を解説した。

参加状況:合計 20名

アンケート結果:合計20名の方から回答をいただいた。

満足度:満足 95.0% / 普通 5.0% / 不満 0.0%

難易度:適切 66.7% / 難しい 33.3% / 簡単 0.0%

新分野への参入意向:意欲あり 25.0% / 未定 40.0% / 予定なし 10.0%

主な意見:「内容が非常に興味深く面白かった」「説明が分かりやすく理解しやすかった」など、講義内容や説明の分かりやすさを評価する意見が多く寄せられた。また、「日本の半導体産業の最新動向や市場の視点を含めた解説が参考になった」「技術とマーケットの両面からの説明が良かった」といった声もあり、産業全体を俯瞰した講義内容への評価が見られた。さらに、「滋賀県の半導体誘致に必要な条件を知ることができた」「パワー半導体材料の課題について理解できた」など、地域政策や技術動向の理解に役立つとの意見も寄せられた。全体として、今後も参加したいという前向きな感想が多く見られた。

講座写真



リスクリングブリッジ創出業務 実践講座 第2回

日時:令和7年10月24日(金)13:30~15:00

場所:立命館大学 びわこ・くさつキャンパス 防災 2F 第2会議室

講師名:立命館大学工学部電気電子工学科

半導体材料科学研究室 教授 荒木 努 氏

講座名:半導体の結晶成長と極微構造観察

講座概要:講座では、分子線エピタキシー法による半導体結晶成長技術と、透過電子顕微鏡を用いた結晶欠陥観察技術について、実際の装置の稼働状況を示しながら原理と応用分野を解説した。あわせて、研究現場の見学を通じて、半導体製造・評価技術への理解を深めた。

参加状況:合計 16名

アンケート結果:合計 13名の方から回答をいただいた。

満足度:満足 84.6% / 普通 15.4% / 不満 0.0%

難易度:適切 53.8% / 難しい 38.5% / 簡単 7.7%

新分野への参入意向:意欲あり 15.4% / 未定 53.8% / 予定なし 15.4%

主な意見:「普段見ることのできない装置や研究設備を実際に見学でき、貴重な経験となった」「MBE や TEM などの実機を見ることができ理解が深まった」など、実際の設備見学を通じた学習機会を評価する意見が多く寄せられた。また、「説明が分かりやすく、専門外でも理解しやすかった」「例えを交えた解説で半導体を身近に感じられた」といった声も見られ、講師の説明の分かりやすさも高く評価された。全体として、実際の製造・研究現場を体験できたことが学習効果を高める機会となったとの感想が多く見られた。

講座写真



リスキングブリッジ創出業務 実践講座 第3回

日時:令和7年11月5日(水)13:30~15:00

場所:立命館大学 びわこ・くさつキャンパス 防災 2F 第2会議室

講師名:立命館大学総合科学技術研究機構 教授 立命館大学宇宙地球探査研究センター長

佐伯 和人 氏

講座名:月探査機に搭載される観測機器の開発の現場

講座概要:本講座では、月着陸実証機 SLIM や月極域探査機 LUPEX に搭載される観測機器の開発を率いる講師が、近年の宇宙開発の動向や、宇宙で用いられる機器開発における技術的課題を解説した。あわせて、研究・開発現場の見学を通じ、宇宙ビジネスの可能性や企業参入のヒントについて理解を深める機会とした。

参加状況:合計 13 名

アンケート結果:合計 12 名の方から回答をいただいた。

満足度:満足 91.7% / 普通 8.3% / 不満 0.0%

難易度:適切 46.2% / 難しい 46.2% / 簡単 0.0%

新分野への参入意向:意欲あり 38.5% / 未定 38.5% / 予定なし 0.0%

主な意見:「宇宙ビジネスの可能性や研究内容を知ることができ参考になった」「県内企業が参入する際のヒントを得られた」など、宇宙産業の将来性や事業機会への関心を示す意見が多く寄せられた。また、「宇宙開発の現場や研究内容を垣間見ることができ勉強になった」「知識がなくても理解しやすい説明だった」といった声も見られ、講義内容の分かりやすさや学習効果を評価する意見も多かった。さらに、「夢のある内容で楽しかった」「時間があっという間だった」など、宇宙開発の魅力や感動を伝える講義であったとの感想も寄せられた。

講座写真



リスクリングブリッジ創出業務 実践講座 第4回

日時:令和7年11月19日(水)14:00~15:30

場所:立命館大学 びわこ・くさつキャンパス 防災 2F 第2会議室

講師名:大阪公立大学大学院工学研究科 特任教授 大阪府立大学 名誉教授

立命館大学 半導体応用研究センター 学外メンバー 内藤 裕義 氏

講座名:有機半導体の現状と将来

講座概要:講座では、有機半導体の柔軟性や低コスト製造の利点を解説するとともに、従来のシリコン半導体との違いを踏まえた電子物性評価の手法について説明した。さらに、量子化学計算や AI 予測を用いた有機半導体設計の最新手法を紹介し、有機物半導体について理解できる内容となった。

参加状況:合計 8 名

アンケート結果:合計 8 名の方から回答をいただいた。

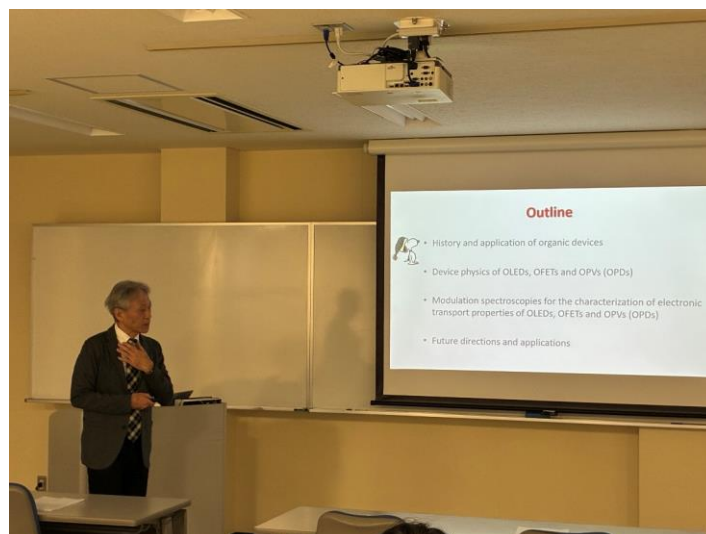
満足度:満足 62.5% / 普通 37.5% / 不満 0.0%

難易度:適切 12.5% / 難しい 87.5% / 簡単 0.0%

新分野への参入意向:意欲あり 62.5% / 未定 37.5% / 予定なし 0.0%

主な意見:「学び直しの機会として有意義だった」「説明が非常に分かりやすかった」といった意見が寄せられ、講義内容の理解しやすさや学習機会としての有用性が評価された。また、「豊富な話題を順序立てて解説しており理解しやすかった」との声もあり、講義構成についても好意的な意見が見られた。さらに、「今後に向けて検討を進めたい」といった意見もあり、今後の取り組みを考える契機となったことがうかがえる。

講座写真



リスキングブリッジ創出業務 実践講座 第5回

日時:令和7年12月8日(月)14:00~15:30

場所:立命館大学 びわこ・くさつキャンパス 防災 2F 第2会議室

講師名:立命館大学理工学部 教授 今田 真 氏

講座名:放射光(SR)を用いた X線吸収分光と光電子分光による物質表面の研究・分析

講座概要:講座では、放射光(SR)を用いた X線吸収分光および X線光電子分光による物質表面分析について解説した。XAFS および XPS の原理や検出深さの違い、表面処理や深さ分析手法を整理するとともに、実験事例を通じて測定結果から分かる情報を示した。あわせて SR センターの見学を行い、実際の運用環境に触れることで、放射光を用いた表面分析技術への理解を深める内容とした。

参加状況:合計 8 名

アンケート結果:合計 8 名の方から回答をいただいた。

満足度:満足 75.0% / 普通 25.0% / 不満 0.0%

難易度:適切 33.3% / 難しい 55.6% / 簡単 11.1%

新分野への参入意向:意欲あり 37.5% / 未定 62.5% / 予定なし 0.0%

主な意見:自由記述では、「SR センターの内部を見学できたことが良かった」「講義を通じて SR への関心が高まった」など、施設見学を含めた学習機会を評価する意見が寄せられた。また、「XAFS について理解が深まった」「難しい内容を平易な言葉で解説してもらい分かりやすかった」といった声も見られ、専門的な内容を理解しやすく説明していた点が評価された。さらに、「今後の連携の可能性を感じた」との意見もあり、研究機関との協力関係の可能性を考える契機となったことがうかがえる。

講座写真



リスキングブリッジ創出業務 実践講座 第6回

日時:令和7年12月17日(水)13:30~15:30

場所:立命館大学 びわこ・くさつキャンパス 防災 2F 第2会議室

講師名:立命館大学総合科学技術研究機構 教授 藤原 康文 氏

講座名:未来社会を支える次世代マイクロLED ディスプレイ

講座概要:講座では、『超スマート社会』におけるヒューマンインターフェイスとしてのディスプレイの重要性を踏まえ、次世代マイクロLED ディスプレイの現状や課題について解説した。基礎的な内容から最先端技術まで、平易な説明で理解を促すとともに、対面講習やラボ見学を通じて直接質問できる機会を設け、実際の研究・開発現場に触れることで理解を深める内容とした。

参加状況:合計 15 名

アンケート結果:合計 15 名の方から回答をいただいた。

満足度:満足 93.3% / 普通 6.7% / 不満 0.0%

難易度:適切 68.8% / 難しい 31.3% / 簡単 0.0%

新分野への参入意向:意欲あり 46.7% / 未定 46.7% / 予定なし 0.0%

主な意見:「説明が分かりやすく、内容をかみ砕いて解説してもらえた」といった意見が多く寄せられ、講義の分かりやすさや丁寧な説明が高く評価された。また、「最新技術に触れることができ興味深かった」「LEDの基礎から専門的な技術まで理解できた」といった声もあり、技術内容への関心の高さがうかがえた。さらに、「対面講習やラボ見学により質問がしやすく有意義だった」「今後の方向性のヒントになった」「夢のある講演だった」など、講義を通じて技術の可能性や将来性を感じたという意見も見られた。

講座写真



リスキリングブリッジ創出業務 実践講座 第7回

日時:令和8年1月16日(金)14:00~16:00

場所:立命館大学 びわこ・くさつキャンパス 防災 2F 第2会議室

講師名:立命館大学副学長 三宅 雅人 氏

講座名:化合物半導体製造装置開発における成膜法とその技術

講座概要:講座では、半導体デバイス製造における基盤技術である薄膜形成技術について概説した。各種成膜手法の原理や特徴、技術的課題とその解決アプローチを整理するとともに、量産装置としての改善点や実用化に向けた工夫についても紹介した。あわせてグループディスカッションを実施し、技術理解を深めるだけでなく、主体的に学びを得られる内容とした。

参加状況:合計 14名

アンケート結果:合計14名の方から回答をいただいた。

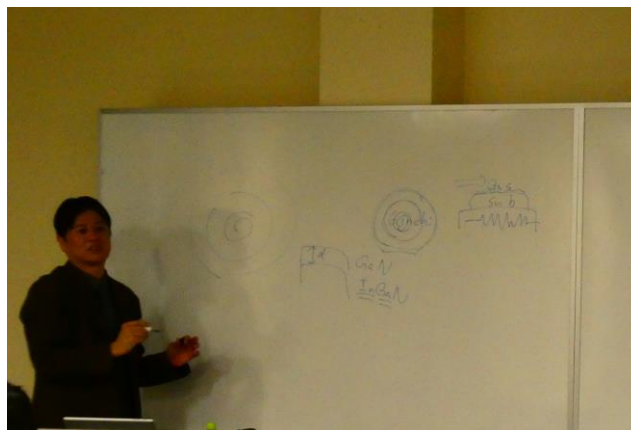
満足度:満足 85.7% / 普通 14.3% / 不満 0.0%

難易度:適切 71.4% / 難しい 28.6% / 簡単 0.0%

新分野への参入意向:意欲あり 50.0% / 未定 50.0% / 予定なし 0.0%

主な意見:「豊富な経験に基づく話が参考になった」「内容が面白く興味深かった」といった意見が多く寄せられ、講義内容の実践性や分かりやすさが評価された。また、「文系でも理解しやすかった」「俯瞰して物事を見る重要性に気付かされた」といった声もあり、専門分野を問わず学びにつながる内容であったとの感想が見られた。さらに、「グループディスカッションが参考になった」「集中して聞くことができた」など、講義形式や進行についても好意的な意見が寄せられた。

講座写真



リスキングブリッジ創出業務 実践講座 第8回

日時:令和8年1月30日(金) 14:00~15:30

場所:立命館大学 びわこ・くさつキャンパス 防災 2F 第2会議室

講師名:立命館大学半導体応用研究センター センター長/教授/RARA フェロー 金子健太郎氏

講座名:新材料による新しい省エネルギー技術の開発

講座概要:講座では、新材料を活用した省エネルギー技術の最先端研究を紹介した。分子加熱用メタマテリアルや安価な水素生成技術、真空紫外固体発光素子、新しいパワー半導体材料など、基礎から専門的な内容まで幅広く解説し、公開実験設備のラボ見学も実施した。

参加状況:合計 12名

アンケート結果:合計12名の方から回答をいただいた。

満足度:満足 100.0% / 普通 0.0% / 不満 0.0%

難易度:適切 41.7% / 難しい 58.3% / 簡単 0.0%

新分野への参入意向:意欲あり 66.7% / 未定 33.3% / 予定なし 0.0%

主な意見:「基礎的な内容から専門的な研究まで幅広く解説してもらえた」「研究と企業の取り組みの双方を知ることができ参考になった」といった意見が寄せられ、講義内容の幅広さが評価された。また、「ラボ見学で実験装置を実際に見ることができ興味深かった」「水素に関する研究状況が学びになった」など、最先端の研究内容や設備見学を通じた理解の深化を評価する声も見られた。さらに、「社会実装を目指す重要性を感じた」「今後の事業の方向性を考えるきっかけになった」など、今後の取り組みや新たな挑戦を考える契機となったとの意見も寄せられた。

講座写真

